

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標評価報告書

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
秋田県	50008	1・3	H19～23	H19～23
活性化計画の区域				
秋田地区	鹿角市	: 鹿角第2地区		
	大館市	: 笹館地区、真中大堰地区、沼館地区		
計8市町13地区	秋田市	: 太平野田地区		
	潟上市	: 天塩地区		
	由利本荘市	: 笹子上堰地区、館合新田地区		
	美郷町	: 羽貫谷地地区、大畑地区		
	横手市	: 宮田地区、下郷地区		
	湯沢市	: 落合地区		

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標			目標値A	実績値B	達成率 (%) B/A	備考
区分	計画 番号	地区				
定住等の促進 に資する農業 用排水施設 等の機能の確 保	1	【太平野田地区】	37.7ha	37.7ha	100.0	条件整備により機 能が確保された農 地の面積
	1	【笹館地区】	28.8ha	28.8ha	100.0	
	3	【真中大堰地区】	94.2ha	94.2ha	100.0	
	1	【落合地区】	7.2ha	7.2ha	100.0	
	1	【笹子上堰地区】	70.0ha	70.0ha	100.0	
	1	【館合新田地区】	29.0ha	29.0ha	100.0	
			計	266.9ha	266.9ha	
定住等の促進 に資する基盤 整備の円滑化	1	【宮田地区】	1年	1年	100.0	区画整理事業等の 着手までの年数
	3	【下郷地区】	1年	1年	100.0	
	1	【沼館地区】	1年	1年	100.0	
	1	【鹿角第2地区】	1年	1年	100.0	
	1	【天塩地区】	1年	1年	100.0	
	1	【羽貫谷地地区】	1年	1年	100.0	
	3	【大畑地区】	1年	1年	100.0	
			計	7地区	7地区	

(コメント)

- ・定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保については、各地区とも計画どおり条件整備を行い、目標を達成することができた。
- ・定住等の促進に資する基盤整備の円滑化については、各地区とも目標のとおり区画整理事業に着手し、達成することができた。

## 2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
【太平野田地区】 農業用排水施設	農業用水路	L = 1,247m	秋田市孫左衛門堰土地改良区
【笹館地区】 農業用道路	農道	L = 1,297m	大館市
【真中大堰地区】 農業用排水施設	農業用水路	L = 2,892m	大館市南土地改良区
【落合地区】 農業用排水施設	農業用水路	L = 2,870m	湯沢市
【笹子上堰地区】 農業用排水施設	農業用水路	L = 1,532m	由利本荘市
【館合新田地区】 農業用排水施設	農業用水路	L = 1,027m	由利本荘市
【宮田地区】	地形図作成	A = 88.0ha	横手市
	農用地等集団化	A = 88.0ha	
【下郷地区】	地形図作成	A = 58.0ha	横手市
	農用地等集団化	A = 58.0ha	
【沼館地区】	農用地等集団化	A = 56.0ha	大館市
【鹿角第2地区】	農用地等集団化	A = 130.0ha	鹿角市
【天塩地区】	農用地等集団化	A = 118.0ha	潟上市
【羽貫谷地地区】	地形図作成	A = 50.0ha	美郷町
	農用地等集団化	A = 50.0ha	
【大畑地区】	地形図作成	A = 60.0ha	美郷町
	農用地等集団化	A = 60.0ha	
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
【太平野田地区】 秋田市孫左衛門堰土地改良区	H20	H23	H24. 3. 12
【笹館地区】 大館市	H19	H23	H23. 12. 2
【真中大堰地区】 大館市南土地改良区	H20	H23	H23. 12. 12
【落合地区】 湯沢市	H19	H23	H24. 3. 14
【笹子上堰地区】 由利本荘市	H19	H21	H22. 3. 5
【館合新田地区】 由利本荘市	H20	H21	H21. 12. 15

管理主体		事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
【宮田地区】	地形図作成	H20	H20	—
	農用地等集団化	H20	H20	—
【下郷地区】	地形図作成	H21	H21	—
	農用地等集団化	H21	H21	—
【沼館地区】	農用地等集団化	H20	H20	—
【鹿角第2地区】	農用地等集団化	H20	H20	—
【天塩地区】	農用地等集団化	H20	H20	—
【羽貫谷地地区】	地形図作成	H20	H20	—
	農用地等集団化	H20	H20	—
【大畑地区】	地形図作成	H21	H21	—
	農用地等集団化	H21	H21	—
事業の効果				
<p>農業用排水施設及び農道の整備により、施設の維持管理負担の軽減や作業効率の向上が図られ、農業経営の安定・生産効率の向上に資することができ、地域の活性化が期待できる。</p> <p>また、地形図作成及び農用地等集団化の実施地区では、合意形成の促進や地域の営農構想の明確化が図られ、円滑な区画整理事業の着手に寄与することができた。</p>				

### 3 総合評価

<p>(コメント)</p> <p>農業用排水施設及び農道の整備については、計画どおり事業実施が行われ、受益地域における農業経営の安定化・効率化を計ることができた。</p> <p>基盤整備の円滑化の事業実施地域においては、予定どおり区画整理事業に着手しており、複合経営への取り組みや、低コスト省力化が期待される。</p> <p>各地区とも、事業活用活性化計画目標を達成しており、秋田地区活性化計画を完了している。</p>
---

### 4 第三者の意見（秋田県農林水産部農業関係補助事業に係る第三者委員会）

<p>(コメント)</p> <p>各地区とも事業活用活性化計画目標を達成しており、基盤整備事業の実施により担い手への農用地利用集積も進んでいることから、所定の効果は発現しているものと考えられる。農用地集団化事業等の調査計画策定と合わせて、今後とも計画的に推進されることを期待する。</p>
--